

歴史書

9

2010
No. 191



通信

岩宿遺跡の今昔／安蒜 政雄

歴史書新刊ニュース〈7・8月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈7・8月〉

歴史懇りバイバル2010フェア／書目一覧

歴史書懇話会

岩宿遺跡の今昔

安蒜 政雄

(明治大学文学部教授)

群馬県みどり市(旧新田郡笠懸村のちに同郡笠懸町)にある岩宿遺跡は、日本列島に旧石器時代人がいた事実をはじめて証明した発掘場所として著名である。

1949年の9月11日、この日、琴平山と稲荷山の鞍部を横切る岩宿の切り通しでは、相沢忠洋(1925~1989)が採集した数点の石器に端を発し、崖面の表土下に厚く堆積する赤土の中から、人類の生活址を掘り出そうとする日本で最初の調査が試みられた。当時、更新世に火山灰が降下してできた赤土の中になど、人類の生活した痕跡はありえないとするのが学界一般の常識であった。

杉原荘介団長をはじめとする明治大学考古学研究室のスタッフは、その関東ローム層と呼ばれる赤土を黙々と掘り進んだ。やがて作業も終了間際の午後4時50分、団長の振るった小さなシャベルが大きな手ごたえをとらえ、赤土中から斧のかたちをした石器が姿を現した。

「ハックツニセイコウ タダナミダノミ」

という電報が、杉原団長から東京の研究室に届いたのは、その翌日のことであった。

こうして、日本列島にも旧石器時

代が存在した証拠が掘り出され、日本人類文化の起源を科学的に追求める研究の第一歩が印された。その発掘地点には、上下二つの地層中にそれぞれ年代の違う別種類の石器が残されていた。杉原は、より下層の古い方を岩宿Ⅰ石器群とし、上層の新しい方には岩宿Ⅱ石器群という名前をつけた。

明治大学は、この9月の予備調査後、同年10月に第1回の本調査を、翌50年4月には第2回の本調査をおこない、発掘は2年越し3回にわたった。新発見の事実を、念には念を入れて確かめていたのである。

それから今年で、ちょうど60年がたった。この間、岩宿遺跡は国の史跡となり、発掘された石器群は重要文化財に指定され、隣接地には岩宿博物館(旧笠懸野岩宿文化資料館)も建って、日本考古学史上に果たした業績がたたえられている。確かに、岩宿遺跡は、学史に輝かしい金字塔をうちたてた。だが、岩宿遺跡は、過去の記念碑だけではなく、現在もなお旧石器時代の研究対象とされつづけているのである。

*

では、岩宿Ⅰと岩宿Ⅱの両石器群がその存在を証明した旧石器時代と

は、どんな社会か。前期・中期・後期に3分され人類史の大部分を占める旧石器時代は、植物を栽培し動物を飼育するなど、年間をとおして定住し食糧を生産する段階に入った新石器時代に先立つ、およそ1万年前以前の移動狩猟採集民の社会であった。狩りに使う槍の穂先に取り付けた石器はどれもが打ち欠き仕上げの打製だが、新石器時代以降には砥石にかける磨製の石器製作技術が一般化し普及する。

岩宿Ⅰは後期旧石器時代初頭の、岩宿Ⅱは後期旧石器時代中頃の、それぞれ石器群であった。ところが、杉原のシャベルに当たった、岩宿Ⅰ石器群の石斧の刃が磨かれていたのである。この刃を磨いた石斧は、日本列島の後期旧石器時代初頭にだけ発達した独特な石器で、世界で最も古い磨製石器の一つに数えられている。

*

1956年、発掘後6年の歳月をかけてまとめられた、岩宿遺跡の調査報告書が公開された。同報告書は、刊行と同時に旧石器時代を研究する世界各地の機関や研究者に送られた。そして、岩宿Ⅰと岩宿Ⅱを後期旧石器時代の石器群だとする報告書の結論は、異論もなく受け入れられていくかにみえた。

そうした中、ともにフランスの先史学者の間で、岩宿遺跡の古さに関する見解が大きく二つに割れた。一人は岩宿遺跡の年代を新石器時代どまりと断じ、もう一人は中期旧石器時代まで古くなる可能性があるとし

唆したのである。

この日本旧石器時代全体にも係わる時代観の違いは、磨製石器の有無を基準とした石器時代の新旧区分の定義とも相まって、国外の研究者ばかりか国内でも顕在化した。杉原(1913~1983)と芹沢長介(1919~2006)それに山内清男(1902~1970)が、岩宿遺跡が残された時代の呼称法も違う、それぞれの自説を主張する状況を迎えるのである。

山内は、磨製石器の存在を重要視して、岩宿遺跡を新石器時代の所産であるとした。対して、芹沢は、新石器時代に該当する縄文時代よりも古い日本列島の石器時代を、旧石器時代と呼んだ。ただし、前期と中期を区別せず一つにし、後期旧石器時代の前に「前期旧石器時代」をおいた。そのうえで、芹沢は、「前期旧石器時代」を、後期旧石器時代以後にはない石の割り方でできる「珪岩製石器」が使われた時代であると性格付けた。この「珪岩製石器」を人工品とは認めず自然石だと断定した杉原が、後期旧石器時代を「先石器時代」と呼称し、芹沢と激しく対立しながら、大きな論争へと発展していく。

1960年代後半の出来事で、いわゆる「前期旧石器時代」の存否論争である。この論争は、1983年、調査直前の発掘現場に「埋められた石器」が、そうとは疑われることもなく証拠となつて、一旦は終結が宣言される。だが、10年前の2000年、一連の捏造工作が発覚するや当然のこと、「埋められた石器」をもとに組み立て

られていた、日本列島の前期と中期の旧石器時代史は消滅した。

しかし、振り返ってみると、160か所以上の捏造工作の場所に「埋められた石器」の中に、「珪岩製石器」はただの一点もなかった。つまり、約20年もの間、「珪岩製石器」をめぐる人工品（石器）か自然石（偽石器）かの論議は不問に付されたままであり、論争は休止状況におかれていたのも同然であった。こうして、もとをたどれば岩宿遺跡の古さについての見解の相違にまでも行き着く、「前期旧石器時代」の存否論争は振り出しに戻った。

いま、再度の論争にのぞむにあたり、捏造事件の教訓を生かさねばならない。それには、「珪岩製石器」と一体化している、芹沢のいう「前期旧石器時代」の有無と、後期よりも古い中期や前期の旧石器時代が本当にあったかどうかとを、はっきり分けて議論する必要がある。というのも、前者は、「珪岩製石器」が自然石（偽石器）ならば芹沢の「前期旧石器時代」がなくなってしまう、「珪岩製石器」の真偽問題だからである。また、後者は、石器の存在が時代の存在を実証する、真の意味での前期・中期旧石器時代の存否問題なのである。

*

JRの両毛線を岩宿駅で降りて、琴平山を目指して西に向かう。田園風景が広がる大間々扇状地の低地を背にしながら琴平山の裾をたどって北に進むと、鹿の川沼にいたる。前方の左手に岩宿博物館の入口が目にと

まり、右手の山かげには岩宿遺跡がある。

岩宿遺跡の調査は、最初の発掘場所だけではなくその周辺部でもおこなわれ、これまでに7つもの地点から後期旧石器時代の石器群が発見されている。いいかえれば、最初に発掘された岩宿遺跡は、いくつもの遺跡のまとまりの一つで、その全体を岩宿遺跡群と呼んでもよい。

岩宿遺跡群は、大間々扇状地の高台とそれに接する琴平山・稲荷山両丘陵の鞍部にかけて分布する。3万年ほど前までは古渡良瀬川の河床であった一帯からは、浅い谷が現渡良瀬川方向にのびていく。岩宿の谷と呼ぶにふさわしい当該地に遺跡が集中したのは、岩宿Ⅰ石器群と同時期の後期旧石器時代初頭であった。岩宿Ⅰ石器群の古さもまた、約3万年前。後期旧石器時代初頭に、離水し出現したばかりの岩宿の谷を舞台とした人類活動が、いかに活発だったかがわかる。

一方、2万年前まで古渡良瀬川の河床であった大間々扇状地の低地には、現利根川のいくつもの支流に沿って、点々と遺跡の密集地がある。岩宿遺跡群は、あたかも、大間々扇状地の高台から低地へと、徐々に生活場所を拡大していった、後期旧石器時代人の移動拠点であったかのようだ。

そうした観点からみると、岩宿遺跡群は、旧石器時代の地史をひもとき、いくつもの遺跡群が構成する遺跡群集合の成り立ちを構造的に明らかにする、その鍵として、今後ます

ます重要な役割を担うものと期待されてくる。岩宿遺跡群は、現在もなお新しい研究の対象なのである。

ところで、岩宿博物館は、大間々扇状地の低地を見下ろす位置に建てられている。裏手の山道を登ると、岩宿の谷に出る。いわば、岩宿博物館は、3万年前に人類活動が盛んであった高台と2万年前に離水した低地とを中継する地点にある。したがって、低地から博物館をへて高台の岩宿の谷に向かうコースを歩めば時を遡り、戻れば逆に時を下るかたちで、後期旧石器時代にタイムスリップする旅が楽しめる。

だが、後期旧石器時代の初頭に、

岩宿の谷をたびたび訪れたのは、すでに日本列島にいた住人なのか。それとも、新たに日本列島へと移り住んできた旧石器時代人だったのか。岩宿遺跡群に最初に姿をみせた旧石器時代人は、一体、いつどこから、やってきたのか。その答を探し求める確かな道程こそが、真の意味での前期・中期旧石器時代存否の問題に結論をもたらせ、「珪岩製石器」の真偽をしっかりと見定めることになるに違いない。

(表紙写真) 岩宿遺跡の予備調査(1949年9月11日) 右から杉原、芹沢、一人おいて相沢の各氏。

出雲大社の建築考古学

浅川滋男・島根県古代文化センター編

B5判・六〇〇頁・一八九〇〇円(予価)

境内の大型本殿跡発掘を機に、弥生・鎌倉時代に至る山陰の掘立柱建物を集出し出雲大社の建築史的意義を解明。

南海を巡る考古学

今村啓爾編

A5判・二九六頁・七三三〇円(予価)

東南アジアおよび台湾、沖縄などの考古資料を基に幅広い観点から検討し、南海の考古学の魅力を描き出す。

植物考古学と日本の農耕の起源

中山誠二著

B5判・三〇四頁・九九七五円

日本における植物栽培から農耕社会の出現までを植物や昆虫の痕跡から解明し、人と栽培植物の関係史を捉え直す。

ものが語る 古代蝦夷社会の成立

八木光則著

A5判・三〇〇頁・六三〇〇円

律令国家との接触過程で変容・形成されていく蝦夷社会の様相を、主として考古学資料を用いて詳細に追究する。

企業城下町の形成と日本の経営

松石泰彦著

A5判・二〇〇頁・三九九〇円

児玉秀雄関係文書Ⅱ昭和期

尚友倶楽部児玉秀雄関係文書編集委員会編

A5判・六〇〇頁・六三〇〇円

博物館で学ぶ

G・E・ハイン著／鷹野光行監訳 A5判・三九九〇円

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込み)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
http://homepage3.nifty.com/douseisha E-mail douseisha@nifty.com



新刊ニュース

7・8月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典/年表・地図/歴史学・補助学

大阪の地名由来辞典

堀田暁生編

四六判 400頁 2,940円

東京堂出版〔7月刊〕

心齋橋筋・千日前・船場・道頓堀・鶴橋など、大阪府33市9町1村の地名約1100項目を五十音順に収録し、由来・史料上の初見・伝承などを解説。 978-4-490-10774-6

伊豆諸島を知る事典

樋口秀司編

四六判 320頁 予価2,940円

東京堂出版〔8月刊〕

伊豆大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島について、それぞれの島の歴史・宗教・伝説・芸能・産業・自然などを紹介。 978-4-490-10788-3

自治と分権の歴史的文脈

近代日本からの問い5

金澤史男著

四六判 312頁 3,780円

青木書店〔7月刊〕

地方財政と政府間行財政関係の視角から明治地方自治制の成立・確立・変容を実証的に分析した、日本型行財政への見通しを示す。 978-4-4-250-21014-3

博物館で学ぶ

ジョージ・E・ハイン著 鷹野光行監訳

A 5判 290頁 3,990円

同成社〔8月刊〕

ボストンの博物館で教育プログラムの評価・研究に関わってきた著者が、博物館の教育活動を実践する上で必要な視座と方法について論じる。 978-4-88621-527-7

考古学

概論・通史/日本/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/その他

古代蝦夷社会の成立 (仮)

ものが語る歴史シリーズ21

八木光則著

A 5判 300頁 6,300円

同成社〔8月刊〕

古代の道南・東北地域において律令国家との接触過程で変容・形成されていく蝦夷社会の様相を主に考古学資料から究明する。 978-4-88621-534-5

出雲大社の建築考古学

浅川滋男・島根県古代文化センター編

B 5判 600頁 18,900円

同成社〔7月刊〕

出雲大社境内の大型本殿跡発掘を契機に、弥生～鎌倉時代に至る山陰地方の掘立柱建物を集成し、出雲大社の建築史的意義を解明。 978-4-88621-519-2

植物考古学と日本の農耕の起源

中山誠二著

B 5判 312頁 9,975円

同成社〔8月刊〕

日本列島における植物栽培の開始から農耕社会の出現までを遺跡で見つかる植物痕跡等から解明し、人と栽培植物の関係史を捉え直す。 978-4-88621-535-2

倭人伝を徹底して読む

古田武彦著

四六判 550頁 3,000円

ミネルヴァ書房〔8月刊〕

古代日本は中国からどう見られたのか。魏志倭人伝を逐語的に総点検する。 978-4-623-05218-9

南海を巡る考古学

今村啓爾編

B 5 判 298頁 7,350円

同成社〔8月刊〕

978-4-88621-536-9

急増する近年の東南アジアの考古学資料を広
い視野からまとめ、現時点における最先端の
研究成果を集積。

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

童門冬二の堂々！ 人物伝

童門冬二著

四六判 350頁 1,575円 新人物往来社〔5月刊〕

戦国から幕末にかけて活躍した名将や英傑・
志士らの知略と決断・処世術などを通し、彼
らの実像を描く人物伝。歴史を現代に結びつ
け、どのように生かすことができるかをわか
りやすく解説。 978-4-404-03854-8

日本史有名人の臨終図鑑 2

篠田達明著

A 5 判 160頁 1,260円 新人物往来社〔5月刊〕

多くの書評で話題の「日本史有名人の臨終図
鑑」、第2弾登場！ 来年の大河ドラマ主人公お江
ら浅井三姉妹、「坂の上の雲」の秋山兄弟ほか細川ガ
ラシア、清少納言、岩崎弥太郎など70人の臨終直前
のカルテを大公開！ 978-4-404-03859-3

幕末維新大人名事典

安岡昭男著

A 5 判 上・下各720頁 58,800円 新人物往来社〔5月刊〕

地方の人物史に詳しい著者111名による、ペリ
ー来航から西南戦争までの25年間・8500余人を収録した最大の人物事
典。戊辰戦争の敗者である旧幕府側人物をより多く掲載す
る他、地方の人々や女性、文化人、来日した外国人など初め
て掲載される人物も多数。 978-4-404-03764-0

城と姫

楠戸義昭著

A 5 判 224頁 1,680円 新人物往来社〔5月刊〕

戦国時代を生きた女達は、城をめぐる攻防の中で決
して死を恐れず、時には甲冑をまとい戦った。全国の中か
らは是非足を運んで欲しい戦国名城と、その城にゆかり
の深いヒロインの生き様にスポットを当て、地図と写
真でわかりやすく紹介。 978-4-404-03857-9

戦国武将 変わり兜図鑑

須藤茂樹著

A 5 判 160頁 1,890円 新人物往来社〔5月刊〕

戦国武将の「当世具足」のうち、兜に焦点を
絞りオールカラーで紹介。前立て、脇立ての
ユニークな兜を集め、その意味や武将の精神
を一流の研究者がわかりやすく解説。
978-4-404-03858-6

火縄銃・大筒・騎馬・鉄甲船の威力

戦国最強の兵器図鑑

桐野作人著

A 5 判 256頁 1,890円 新人物往来社〔6月刊〕

戦国時代、戦場における新兵器として火器が導入
されたことで、防壁や木柵、陣容など戦術さえも
一変した。戦国合戦史を塗り替えた、火器・馬・水・
戦船などハイテク兵器の歴史と戦場での役割・効
果を再検証する。 978-4-404-03869-2

日本近現代史を読み直す

これから先はどうなるか

小林英夫著

四六判 230頁 1,680円 新人物往来社〔6月刊〕

近現代史研究の第一人者が、最新の研究成果
を踏まえて紙上講義。国境線を画定した日清
戦争から現在までの通史を、初学者にもわか
りやすく解説。近現代史を学びなおしたい人
におすすめの一冊。 978-4-404-03870-8

復員・引揚げの研究

田中宏巳著

四六判 240頁 1,680円 新人物往来社〔6月刊〕

戦地から、大陸から、苛酷な道のりをたどっ
て故国日本に生還した六百数十万の日本人を
レポート。 978-4-404-03871-5

近代日中関係史人名辞典

中村義ほか編

A 5 判 650頁 15,750円 東京堂出版〔7月刊〕

明治時代から終戦までの期間、特に中国との
関係において、政治・外交・経済・軍事・文
化・教育などの分野で業績のあった人物1200
余名を解説する。 978-4-490-10783-8

徳川幕臣人名辞典

竹内 誠ほか編

A 5判 650頁 12,600円 東京堂出版〔8月刊〕

徳川幕府の幕臣2000余名を選び、詳細な経歴を解説する。役職上、有能な幕臣のみならず、芸術・学問の分野で活躍した幕臣も収録。職制一覧も付す。 978-4-490-10784-5

歴史のなかの天皇陵

高木博志・山田邦和編

A 5判 290頁 2,625円 思文閣出版〔8月刊〕

各時代に陵墓がどうあり、社会のなかでどのように変遷してきたのか、考古から近代まで陵墓の歴史をやさしく説く。図版多数。 978-4-7842-1514-0

倭寇と「日本国王」

日本の対外関係4

荒野泰典・石井正敏・村井章介編

A 5判 346頁 6,300円 吉川弘文館〔7月刊〕

室町將軍はなぜ、明からの「日本国王」冊封を望んだのか。王権から民衆社会まで、豊かな対外交流を多面的に描き、中世日本に迫る。 978-4-642-01704-6

安祥寺資財帳

京都大学史料叢書 第17冊

京都大学文学部日本史研究室編

A 5判 176頁 5,775円 思文閣出版〔7月刊〕

巻首から巻尾まで備わった貴重な9世紀の資財帳史料の一つ、安祥寺資財帳。現存の諸本の祖にあたる京都大学蔵本を影印で収録。積文と解説を付す。 978-4-7842-1516-4

伊勢斎宮の祭祀と制度

榎村寛之著

A 5判 296頁 7,200円 塙書房〔7月刊〕

①斎宮制度の研究②斎宮をめぐる祭祀と文化③斎宮の発掘と文献史学の三部にて、8~11世紀の斎宮を考察し律令国家のなかで果たした重要な役割を明らかにする。 978-4-8273-1233-1

史跡で読む日本の歴史 8

アジアの中の日本

服部英雄編

四六判 340頁 2,940円 吉川弘文館〔7月刊〕

朝鮮半島に築かれた倭城、キリシタンの遺跡、南蛮交易都市=堺・平戸・豊後府内・長崎、琉球王国とグスク等、アジアとの交流を描く。 978-4-642-06416-3

日本古代軍事構造の研究

野田嶺志著

A 5判 368頁 10,000円 塙書房〔7月刊〕

「日本律令軍制の特質」「律令軍事機構の成立とその役割」「古代王権の軍事的基礎について」「古代の兵士」など律令国家の軍制とその形成過程に関する論稿15本を収録。 978-4-8273-1235-5

京都の歴史を足元からさぐる

丹後・丹波・乙訓の巻

森浩一・高野陽子・三浦到著

四六判 384頁 2,835円 学生社〔8月刊〕

古都・京都に秘められた古社寺の歴史エピソードを再発掘。古社寺に生きた人々と隠れた歴史に新たな視点を当てる森古史学上の結晶。シリーズ最終巻！ 978-4-311-20336-7

平城京の時代

古代の都2

田辺征夫・佐藤 信編

四六判 314頁 2,940円 吉川弘文館〔7月刊〕

国際色豊かな天平文化が花開いた平城京。最新の研究成果から、立ち並ぶ寺院、貴族や庶民の生活など、古都の原像とその時代を描く。 978-4-642-06292-3

荘園史と荘園絵図

奥野中彦著

A 5判 432頁 6,300円 東京堂出版〔7月刊〕

地図（絵図）は歴史を形成する政治・経済・社会をうかがい知る事のできる根本史料であるとの信念を持つ、著者長年にわたる荘園史研究の集大成。 978-4-490-20707-1

古代蝦夷を考える

歴史文化セレクション

高橋富雄著

四六判 366頁 2,415円 吉川弘文館〔7月刊〕

蝦夷の呼び名はなぜエミシ・エゾでなくエビスでなければならないのか。東国・日高見国やアイヌとの関連はどうか。根本から再検討。 978-4-642-06364-7

中世北方の政治と社会

大石直正著

四六判 350頁 3,990円

校倉書房〔7月刊〕

中世の蝦夷問題をはじめ、自立性のつよい東国・東北の社会について、奥州藤原氏の北奥支配や、交易を基盤とする安藤氏などを中心に考察した。 978—4—7517—4230—3

後醍醐天皇と密教

シリーズ権力者と仏教

内田啓一著

四六判 243頁 2,100円

法藏館〔7月刊〕

密教の力を用いて王権の強化をはかり、南北朝の動乱の時代を駆けぬけた後醍醐天皇の生涯を、密教美術作品を交えてわかりやすく論じる。 978—4—8318—7584—6

都市鎌倉の中世史

吾妻鏡の舞台と主役たち 歴史文化ライブラリー301

秋山哲雄著

四六判 238頁 1,785円

吉川弘文館〔7月刊〕

「都市計画に基づく難攻不落の武士の都」という鎌倉のイメージは正しいのだろうか。御家人の暮らしなどから中世の鎌倉の実像に迫る。 978—4—642—05701—1

中世の神仏と古道

歴史文化セレクション

戸田芳実著

四六判 328頁 2,205円

吉川弘文館〔8月刊〕

埋もれていた中世の道を実際に踏査。歩いてはじめて見えてきた中世の人々や社会の姿を描き、地域に根差した歴史を学ぶ面白さを説く。 978—4—642—06365—4

一休派の結衆と史的展開の研究

矢内一磨著

A 5 判 372頁 8,190円

思文閣出版〔7月刊〕

一休没後も存続した一休派の結衆とその史的展開を解明することで、中世末期の寺院研究史上の欠如を埋める。 978—4—7842—1525—6

室町幕府軍制の構造と展開

吉田賢司著

A 5 判 416頁 13,650円

吉川弘文館〔7月刊〕

室町幕府軍制を、戦時編制の基本構造と軍事親裁の展開過程の視点から考察。幕府・守護・国人の関係性を整理し、変質過程を跡づける。 978—4—642—02889—9

豊臣・徳川時代と朝鮮

戦争そして通信の時代へ

貴井正之著

四六判 448頁 5,040円

明石書店〔5月刊〕

朝鮮国王の密命を帯びた朝鮮義兵将・松雲大師は家康と国交再開に向けた秘密交渉を行った。後に豊かな捻りをもたらす日朝関係再開の舞台裏を描く。 978—4—7503—3206—2

朝鮮通信使をもてなした料理

饗応と食文化の交流

高正晴子著

四六判 230頁 2,310円

明石書店〔6月刊〕

朝鮮通信使との交流を通して花開いた近世文化の精華を掘り起こす。通信使ゆかりの各地で進む饗応料理の研究と再現を通して見えてくるものとは。 978—4—7503—3214—7

村からみた近世

渡辺尚志著

四六判 336頁 3,990円

校倉書房〔8月刊〕

一般の人の抱く江戸時代の百姓像は、非力で憐れな存在であるが、実像とはほど遠く、村という共同体に結集することによって強い力を得ていたのである。 978—4—7517—4240—2

徳川綱吉 一犬を愛護した江戸幕府五代将軍—

日本史リブレット人49

福田千鶴著

A 5 変型判 96頁 840円

山川出版社〔7月刊〕

百花繚乱の文化がきらめく元禄時代に、天下人たる将軍はどのように向き合おうとしたのか、綱吉の目線で迫る。 978—4—634—54849—7

身分のなかの女性

〈江戸〉の人と身分4

藪田 貴・柳谷慶子編

四六判 240頁 3,150円

吉川弘文館〔7月刊〕

商家を切り盛りする後家、武家権力を支えた正室や側室・奥女中、性を封印した皇女尼僧。女子の教育や身売り奉公等、女性たちの実像。 978—4—642—06569—6

都市の身分願望

〈江戸〉の人と身分1

宇佐美英機・藪田 貴編

四六判 240頁 3,150円

吉川弘文館〔8月刊〕

商家や武家の奉公人、町奉行所の役人、代官所の御用請負人、そして長吏たち…。貨幣経済のなかでの人・モノ・情報と身分の関係を描く。 978-4-642-06566-5

佐賀藩

日本歴史叢書66

藤野 保著

四六判 306頁 3,045円

吉川弘文館〔8月刊〕

なぜ維新时期に西南雄藩として台頭したのか？ 葉隠武士道、藩政改革、洋式工業の導入…。独自の歴史を国際的視角から解き明かす。 978-4-642-06665-5

小中村清矩日記

大沼宜規著

A 5判 756頁 21,000円

汲古書院〔7月刊〕

明治国家形成期に皇室典範の制定に関わった高名な国学者・小中村清矩。激動の幕末・明治期を生きた研究生活をうかがい知る貴重な記録。 978-4-7629-4206-8

幕末・明治日仏関係史

1854~1895年

リチャード・シムズ著 矢田部厚彦訳

A 5判 400頁 6,825円

ミネルヴァ書房〔7月刊〕

欧米列強との条約締結によって開国の道を歩み始めた幕末から、明治維新、日清戦争に至る四〇年間日仏関係はどのように展開したか。 978-4-623-05604-0

木戸孝允 —「勤王の志士」の本音と建前—

日本史リブレット人70

一坂太郎著

A 5変型判 96頁 840円

山川出版社〔7月刊〕

朝敵の烙印を押された長州藩を復権させ、明治維新の栄光を背負わせた立役者・木戸孝允の生涯を追う。 978-4-634-54870-1

〈主婦〉の誕生

婦人雑誌と女性たちの近代

木村涼子著

A 5判 328頁 5,040円

吉川弘文館〔8月刊〕

『主婦之友』『婦人公論』といった婦人雑誌は、いかに「主婦」像をつくりだしたのか。マスメディアというイデオロギー装置を読み解く。 978-4-642-03796-9

漫画に描かれた日本帝国

『韓国併合』とアジア認識

韓相一・韓程善著 神谷丹路訳

A 5判 266頁 3,990円

明石書店〔6月刊〕

近代日本において漫画は、帝国建設へと国民を誘い動員する「絵の招待状」だった。日本のアジア観、戦争観を当時の漫画から読み解く。カラー口絵付。 978-4-7503-3218-5

企業城下町の形成と日本的経営

松石泰彦著

A 5判 200頁 3,990円

同成社〔7月刊〕

社会学や産業集積論の研究蓄積をふまえ、岩手県釜石市を事例に日本の経営成立を叙述。戦前の請負人夫と現代の不安定雇用の対比をも含む近代史の労作。 978-4-88621-532-1

大日本帝国の「少年」と「男性性」

少年少女雑誌に見る「ウィークネス・フォビア」

内田雅克著

A 5判 240頁 4,410円

明石書店〔6月刊〕

軍国日本の形成過程で少年のイメージがどのように構築されてきたのかをジェンダー的に分析し、「弱さ」に対する嫌悪という概念を提起する。 978-4-7503-3219-2

児玉秀雄関係文書Ⅱ 昭和期

児玉秀雄関係文書編集委員会編

A 5判 350頁 6,300円

同成社〔8月刊〕

激動の昭利に政界中枢で要職を歴任した児玉秀雄伯爵が遺した未公開資料を含む書簡類を収録。当時の緊迫する国際情勢が明らかに。 978-4-88621-530-7

北一輝

戦なき平和は天国の道に非ず

岡本幸治著

四六判 280頁 2,940円

ミネルヴァ書房〔8月刊〕

戦後長らく、「ファシスト」「超国家主義者」等のレッテルを貼られ、毀誉褒貶にさらされてきた浪人の実像を描き出す。 978-4-623-05836-5

帝国日本の再編と二つの「在日」

戦前、戦後における在日朝鮮人と沖繩人

金廣烈ほか著 朴東誠監訳

A 5判 284頁 6,090円

明石書店〔7月刊〕

1940年代の日本がとった在日朝鮮人・沖繩人に対する政策を検討し、「帝国」という古い体制をどのように脱ぎ捨て再出発をしようとしたのかを究明する。 978-4-7503-3221-5

歴博フォーラム 戦後日本の大衆文化

総合展示第6室〈現代〉の世界③

国立歴史民俗博物館十安田常雄編

A 5判 240頁 3,150円

東京堂出版〔8月刊〕

歴博第6展示室は、懐かしいコトやモノが現代史の中でどう位置づけられたかが見どころである。本書は口絵や展示解説も充実したシンポ記録の第3冊。 978-4-490-20695-1

石川県の歴史散歩

歴史散歩17

石川県の歴史散歩編集委員会編

B 6変型判 320頁 1,260円 山川出版社〔7月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献・おもな祭りや年表など付録も充実。

978-4-634-24617-1

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

ギリシャ神話

新人物往来社編

A 5判 144頁 1,890円

新人物往来社〔6月刊〕

ギリシャ神話の背景、成り立ち、変遷、影響などを、絵画や風景写真などとともにオールカラーで紹介。ギリシャ神話やヨーロッパ文化に興味のあるすべての人に読んで欲しい一冊！ 978-4-404-03868-5

改訂版・アンデスの考古学

世界の考古学①

関雄二著

四六判 300頁 2,940円

同成社〔8月刊〕

南米に栄えた先インカとそれを集大成したとされるインカを含めた諸文化について最新の研究成果を反映させて紹介。

978-4-88621-531-4

上海時間旅行

佐野眞一他著

菊5判 208頁 1,890円

山川出版社〔7月刊〕

“オールド上海”の魅力を大宅賞作家、佐野眞一氏ら10人による論考と、豊富な写真で再現。

978-4-634-15007-2

栄光のペルシア

MUSAEA JAPONICA 10

財団法人平山郁夫シルクロード美術館・古代オリエント博物館編

A 5判 128頁 1,700円

山川出版社〔8月刊〕

青銅器時代からアケメネス朝、サーサーン朝、その後イスラム期に華開いた文化を平山郁夫シルクロード美術館所蔵の逸品を通して紹介する。 978-4-634-64826-5

アフリカの植民地化と抵抗運動

世界史リブレット121

岡倉登志著

A 5変型判 96頁 765円

山川出版社〔7月刊〕

20世紀の脱植民地化・パン・アフリカ運動へと至る、アフリカで展開されたさまざまな抵抗運動の軌跡を明らかにする。

978-4-634-34959-9

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教

教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

知っておきたい 名僧のことは事典

中尾 堯・今井雅晴編

A 5判 300頁 3,045円

吉川弘文館〔8月刊〕

日本史上に足跡を残した名僧34名の珠玉のことば。心にしみる言葉の理解のために、名僧の生涯を辿り、現代語訳と平易な解説を付す。

978-4-642-08041-5

伝統都市3 インフラ

吉田伸之・伊藤毅編

A 5判 312頁 5,040円 東京大学出版会〔7月刊〕

「都市の骨格」である道路や橋など、都市生活に必要な基盤が形成されてきた過程と、その空間的・社会的意味を探っていく。

978-4-13-025133-4

伝統都市4 分節構造

吉田伸之・伊藤毅編

A 5判 328頁 5,040円 東京大学出版会〔8月刊〕

社会を構成するさまざまな集団が織りなす複層的な関係性に焦点をあてて、多様で個性的な社会的結合体を都市空間のなかに描き出す。シリーズ最終巻。978-4-13-025134-1

日本国号の歴史

歴史文化ライブラリー303

小林敏男著

四六判 240頁 1,785円 吉川弘文館〔8月刊〕

「日本」という国号は、いつ、誰が、どう定めたのか。それまでの「ヤマト」「倭」から変更した理由とは。その意味や由来を解明。

978-4-642-05703-5

内務省の歴史社会学

副田義也編

A 5判 388頁 6,510円 東京大学出版会〔8月刊〕

戦前期日本の巨大官庁・内務省。官僚たちや組織、制度のあり方はどのような特徴をもったのか。現代日本社会になお影響をとどめる内務省の歴史社会学的研究。

978-4-13-056107-5

中世天照大神信仰の研究

伊藤 聡著

A 5判 750頁 13,650円 法蔵館〔8月刊〕

根本的変貌を遂げた中世神道——。その思想運動の中核をなす伊勢や天照大神信仰の言説に焦点を絞り、従来不可解とされてきた南部神道説の形成と展開を初解明する、画期的大著。

978-4-8318-6028-6

西山浄土教の基盤と展開

五十嵐隆幸著

A 5判 300頁 4,200円 思文閣出版〔8月刊〕

日本仏教を基盤に日本浄土教の祖師や、浄土宗の開祖法然の浄土教義、さらに門弟の證空や行観を中心に西山教義をまとめる一書。

978-4-7842-1529-4

密行 最期の伴天連シドッティ

古居智子著

四六判 320頁 1,680円 新人物往来社〔5月刊〕

江戸中期の知の巨人新井白石と、鎖国中の日本へ布教の許しを請いにやって来て捕らえられたイタリア人神父シドッティの命がけの交流を、史実に基づき克明に描く。

978-4-404-03856-2

大系真宗史料 文書記録編 15

近世倫理書

真宗史料刊行会編

A 5判 450頁 10,500円 法蔵館〔7月刊〕

江戸時代、浄土真宗の教理教学に基づき学僧が記述した倫理書に、一般の門徒らが記述した通俗教訓書、民衆家訓、日記など16編を収録。「客照問答」「肉食妻帯弁」「農民鑑」他。

978-4-8318-5074-4

大谷文書集成 4

龍谷大学善本叢書 28

小田義久責任編集

A 5判 330頁 36,750円 法蔵館〔7月刊〕

龍谷大学図書館所蔵の大谷文書漢語資料のうち、未公開であった「胡漢両語文獻」「流沙殘闕」「極少断片」「橘資料」の影印の一部と全釈文を公開する。

978-4-8318-7287-6

石山寺資料叢書 史料篇第三

石山寺文化財総合調査団編

A 5判 424頁 19,950円 法蔵館〔7月刊〕

経蔵の重書・一切経に付された奥書部分の影印・翻刻・解説の集成。

978-4-8318-7681-2

日本人の宗教と動物観

殺生と肉食

中村生雄著

四六判 208頁 2,730円 吉川弘文館〔8月刊〕

日本人がタブー視していた「殺生肉食」に注目し、仏教と肉食、捕鯨と鯨供養などを分析。自然や動物と日本人との関係を明らかにする。

978-4-642-08040-8

本阿弥光悦 人と芸術

増田 孝著

A 5判 352頁 5,250円 東京堂出版〔8月刊〕

江戸初期に活躍した芸術家、本阿弥光悦の生涯を「書」を通してたどる。書跡史学者が読み解く光悦の人と芸術。自筆の手紙の写真と解説を多数収載。 978-4-490-20705-7

伝統産業の成立と発展

播州三木金物の事例

桑田 優著

A 5判 300頁 6,825円 思文閣出版〔8月刊〕

兵庫県三木市の伝統産業、三木金物が特産品として全国市場へ進出してゆく過程を、流通機構の発達など社会的な背景にも着目しながら跡付ける通史。 978-4-7842-1523-2

「国民歌」を唱和した時代

昭和の大衆歌謡 歴史文化ライブラリー302

戸ノ下達也著

四六判 224頁 1,785円 吉川弘文館〔7月刊〕

政府・軍からメディアと大衆までを巻き込み、次々と登場し唄われた「国民歌」。戦意昂揚のための流行歌から、戦争の時代をえぐる。 978-4-642-05702-8

流行歌の誕生

「カチューシャの唄」とその時代 歴史文化ライブラリー304

永嶺重敏著

四六判 200頁 1,785円 吉川弘文館〔8月刊〕

大正初期の空前の大ヒット「カチューシャの唄」。地方巡業やレコード・映画によって歌が流行してゆく過程と、熱狂する人々の姿。 978-4-642-05704-2

伝記

三条天皇

心にもあらでうき世に長らへば

倉本一宏著

四六判 312頁 2,940円 ミネルヴァ書房〔7月刊〕

失明などの病気に苦しみ、落日の冷泉皇統のために苦闘した、悲劇の天皇の実像を描く。

978-4-623-05788-7

松平信綱

人物叢書265

大野瑞男著

四六判 320頁 2,205円 吉川弘文館〔8月刊〕

将軍家光・家綱に仕え、島原の乱を鎮圧。幕府確立に尽力し、川越藩主として「小江戸」川越の基盤を築いた「知恵伊豆」の実像。

978-4-642-05258-0

雑誌

史林 第93巻 第4号

史学研究会（京都大学大学院文学研究科内）発行

A 5判 112頁 1,200円 東京堂出版〔7月刊〕

1916年、史学研究会の機関誌として創刊され、歴史学・地理学・考古学の総合学術誌として数々の論考を送り出してきた『史林』が待望の市販化！ 年6冊。 978-4-490-30665-1

江戸東京切絵図散歩

山川MOOK

山川出版社編

B 5判 208頁 1,680円 山川出版社〔8月刊〕

江戸切絵図と現在の地図を重ね、江戸名所百景・名所図会・古写真・現況など、東京に残る江戸の老舗も併せて紹介する。

978-4-634-17003-2

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

日本歴史 8月号(第747) = 7月刊
9月号(第748) = 8月刊
日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

A 5判 146頁 各780円 吉川弘文館〔7・8月刊〕

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

第11回〈日本歴史学会賞〉発表 主催 日本歴史学会

日本史研究の発展と研究者への奨励を目的とする「日本歴史学会賞」は、本会評議員の推薦に基づき、理事会における選考の結果、下記の通り第11回受賞者を決定しました。去る7月10日(土)開催の評議員総会において、本賞を贈呈しました。

◆受賞者 磐下 徹氏

受賞論文「郡司職分田試論」

(『日本歴史』第728号〈2009年1月号〉掲載)

◆受賞者略歴

いわした・とおる

1980年7月、愛知県生まれ

2010年3月、東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得満期退学

現在、関東学園大学経済学部専任講師

◆選考の経緯

昨年本誌に掲載された対象論文51本について、評議員の推薦に基づき若手研究者の奨励という本賞の趣旨に鑑みて理事会で慎重に審議した結果、古代律令制の制度と実態に関する解析に手堅い成果を示した磐下徹氏の標記論文を受賞作に決定した。

磐下論文は、これまで概説的な検討しかなされていなかった律令制下の郡司職分田を取り上げ、令条文の検討とその日唐比較、類似制度との対照、木簡を含む実態史料の解析を行うなど、法制上の扱いと実態としての性格を詳細に分析し、郡司となる地域有力者層の支配領域内の耕地を読み替えたのが郡司職分田の実体であるとする仮説を提示した。その歴史的位置付けの深化になお課題が残るが、所論は説得的であり、既知の史料と新出の史料、蓄積の厚い研究史と新たな研究動向に目配りし、制度と実態の解析から新知見を抽出するという古代史研究の規範的手法を着実に展開して鮮やかである。歴史認識の基盤となる解析力の今後一層の発揮が期待される。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2010. 7・8

――青木書店――

新装版さくら・さくらんぼの障害児保育 斎藤公子編著……………A 5判 2,310円 8月

――明石書店――

オバマを拒絶するアメリカ レイシズム2.0にひそむ白人の差別意識 ティム・ワイズ著・上坂 昇訳
……………四六判 2,520円 6月

日韓で考える歴史教育 教科書比較とともに 二谷貞夫研究代表・梅野正信編集責任
……………四六判 2,730円 6月

現代日本の貧困観 「見えない貧困」を可視化する 青木 紀著……………四六判 2,940円 6月

終わらなき戦後を問う 橋川俊忠著……………四六判 2,940円 7月

アフリカ学入門 ポップカルチャーから政治経済まで 船田クラーク・センさやか編
……………A 5判 2,625円 7月

――思文閣出版――

小児科学の史的変遷 深瀬泰旦著……………A 5判 9,450円 7月

言語のあいだを読む 日・英・韓の比較文学 大澤吉博著……………A 5判 9,450円 7月

茶譜 全2冊 茶湯古典叢書5 谷見・矢ヶ崎善太郎共編……………A 5判 21,000円 8月

――東京大学出版会――

英仏文学戦記 もっと愉しむための名作案内 斎藤兆史・野崎敏著……………四六判 2,310円 7月

社会科学の理論とモデル8 官僚 真淵勝著……………四六判 2,625円 7月

情報法の構造 情報の自由・規制・保護 山口いつ子著……………A 5判 5,880円 7月

臨床心理学をまなぶ6 質的研究法 能智正博著……………A 5判 2,625円 8月

学習の生態学 リスク・実験・高信頼性 福島真人著……………四六判 3,990円 8月

講座社会学11 福祉 直井道子・平岡公一編……………A 5判 3,990円 8月

熱帯林の人類生態学 ギデラの暮らし・伝統文化・自然環境 河辺俊雄著……………A 5判 6,720円 8月

ともに公共哲学する 日本での対話・共働・開新 金泰昌編著……………四六判 3,990円 8月

――法蔵館――

現代社会と浄土真宗(増補新版) 池田行信著……………四六判 1,890円 8月

――ミネルヴァ書房――

政権交代選挙の政治学 地方から変わる日本政治 白鳥 浩編著……………四六判 3,360円 7月

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

「酷暑」と呼ぶしかないような暑さがつづく中、広島・長崎に原爆が投下されてから65回目の夏を迎えました。決して忘れてはならない過去や、今も続く沖縄の人々の苦しみを共有し、語り継いでいくためにも、歴史を知ることの重要性は増すばかりです。今年も歴史書懇話会では、「戦争は他人事ですか」フェアをご提案いたしております。この機会にさまざまな視点から、過去の歴史・戦争について考えてみませんか。

◇ 柏書房休会

1992年から活動を共にしてきました柏書房が休会となりました。

.....歴懇フェアのお知らせ.....

- 月代わりで、「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを下記の6書店で開催しています

◇TENDO 八文字屋（天童市）／◇東北学院大学土樋店（仙台市）
 ◇紀伊國屋書店新潟店（新潟市）／◇ブックデポ書楽（さいたま市）
 ◇芳林堂書店高田馬場店（東京都）／◇今井書店グループセンター店（松江市）

- ジュンク堂書店新宿店「これが歴史書だ！フェア」

第24回目「歴史書懇話会フェア 南北朝内乱・室町文化」

7月16日～8月31日

- ジュンク堂書店札幌店「歴懇連続フェア in 札幌」

第5回目「歴史書懇話会フェア ゲゲゲの妖怪フェア」 8月上旬より開催中

- 「戦争は他人事ですか」フェア

今年も、恒例の戦争フェアを全国の書店様で開催いただいています。

◇平安堂本店（長野市）／◇ジュンク堂書店新潟店（新潟市）
 ◇須原屋本店（さいたま市）／◇東京大学生協駒場書籍部（東京都）／
 ◇芳林堂書店高田馬場店（東京都）

- 全国の書店で、歴史書懇話会の売行良好書をセットにした「歴史書ベストフェア」を開催中です。歴史書懇話会創立40周年の小豆色の帯が目印です

- ジュンク堂書店大阪本店「平城京遷都1300年フェア」 9月上旬より開催

歴史書懇話会

役員幹事改選

のお知らせ

当会は6月11日に平成21年度総会を開き、役員幹事を右記の通り選任いたしました。

代 表 幹 事	(吉川 弘 文 館)	横井 真木 雄
書 記 ・ 幹 事	(東京堂 出版)	馬場 辰也
会 計 ・ 幹 事	(学 生 社)	林 義 則
特設店・企画委員会幹事	(東京大学出版会)	角田 光隆
販 売 委 員 会 幹 事	(埼 書 房)	矢澤 伊作
弘 報 委 員 会 幹 事	(同 成 社)	吉田 幸一

歴懇リバイバル2010

秋の共同復刊企画

- *名著・貴重書・基本図書を復刊・重版！
- *日本史を中心に考古学、仏教史、世界史、民俗学、
国語学、伝記など幅広いラインナップ！
- *いずれも少数の復刊・重版です。お早めにご注文下さい！
- *復刊書目は2010年8月1日現在10社41点。

主催：歴史書懇話会

発売：2010年10月上旬

青木書店	03-5997-4051	刀水書房	03-3261-6190
校倉書房	03-3203-4851	同成社	03-3239-1467
学生社	03-3857-3031	塙書房	03-3812-5821
東京大学出版会	03-3811-8814	法藏館	075-343-5656
東京堂出版	03-3233-3741	吉川弘文館	03-3813-9151

※著者名につづく()は初版年、出版社名につづく[]は分類を示します。
 ※価格は予定価格です。

中国の現代史

奥村 哲著 (1999)

四六判 230頁 2,310円

青木書店〔中国史〕

978-4-250-99053-3

「中国式社会主義」の特質を世界的視野で分析することを企図し、中国の社会主義体制とはなんだったのかを問う。

倭人と鉄の考古学 シリーズ日本史のなかの考古学

村上恭通著 (1998)

A 5判 214頁 3,150円

青木書店〔考古学〕

978-4-250-98035-0

中国、朝鮮からの外来的文化としての「鉄」の日本化への道を跡づけ、「鉄」の道具としての価値に焦点を当てる。

水子

ウィリアム・R・ラフルーア著
 森下直貴ほか訳 (2006)

A 5判 360頁 3,990円

青木書店〔民俗学〕

978-4-250-20602-3

中絶と宗教にかかわる問題全体を非正統派的な観点から探求し、日本人はどんな知恵をめぐらせ中絶問題が日本社会を対立させなかったかを究明。

地名語源辞典

山中襄太著 (1968年)

A 5判 459頁 7,350円

校倉書房〔地理〕

978-4-7517-0424-0

地名の語源・語義・字義・字訓・命名の由来を解説した特異な辞典。一般の部約6000項、アイヌ語地名約800項、ほかにアイヌ語地名と内地地名対訳表添付。

古代出雲大社の祭儀と神殿

楢山林継ほか著 (2005)

A 5判 208頁 2,730円

学生社〔考古学〕

古代出雲大社は48メートルもあったか？ 古代の神社と祭儀は何を語るか？ 出土した巨大建築物から謎を秘めた古代出雲大社の祭儀と信仰の全貌に迫る。978-4-311-30063-9

三輪山の神々

上田正昭ほか著 (2003)

四六判 226頁 2,079円

学生社〔考古学〕

卑弥呼の墓と言われる箸墓古墳や前期古墳群、三輪山を御神体とする大神神社、万葉の舞台山辺の道など、日本の古代の姿を古代信仰から解き明かす。978-4-311-20261-2

徂徠学の世界

田原嗣郎 (1991)

A 5判 288頁 5,775円 東京大学出版会〔日本中世史〕

「徂徠の言うままに徂徠学を理解する」ことを念頭におき、完成期の徂徠学を独立した理論として取り出し、その理論体系全体の解明を試みた意欲作。978-4-13-020098-1

近世の郷村自治と行政

水本邦彦 (1993)

A 5判 336頁 6,090円 東京大学出版会〔日本近世史〕

幕府の奉行・代官が主導する広域的行政が展開する畿内農村をフィールドに「郷村の行政」の視座から近世国家・近世領主制を問い直す。978-4-13-020104-9

昭和初期政治史研究

伊藤 隆 (1969)

A 5判 510頁 8,610円 東京大学出版会〔日本近代史〕

ワシントン体制からの脱皮と大陸進出をめざす日本とそれに対抗する英米をめぐる昭和初期日本の一大ドラマを分析。

978-4-13-030020-9

民俗学辞典

柳田國男監修 (1951)

B 6判 740頁 7,140円

東京堂出版〔民俗学〕

日本民俗学に総合的な概観を与えるため、あらゆるジャンルから重要事項900を収めた。民俗学興隆の端緒をなした古典的名著。創業120周年記念復刊！ 978-4-490-10001-3

全国方言辞典

東條 操編 (1951)

B 6判 900頁 8,190円

東京堂出版〔日本語〕

臨地採集の方言と文献による方言と合わせて50万枚のカードから4万語を収録し、見出し語・品詞名・語義・使用地域を解説。創業120周年記念復刊！ 978-4-490-10002-0

全国アクセント辞典

平山輝男編 (1960)

B 6判 1044頁 9,240円

東京堂出版〔日本語〕

全国を踏査して10万語を収録し、共通語の単語とそれを含んだ文や句、複合語・動詞・形容詞などの活用形にもアクセントを示した。120周年記念復刊！ 978-4-490-10023-5

隠語辞典

榎垣 實編 (1956)

B 6判 622頁 7,140円

東京堂出版〔日本語〕

忌み言葉・農民・商人・てきや・すり・力士・芸人・花柳界・性用語など、17000語を収録し、語釈・語源・用例・出典などを解説。120周年記念復刊！ 978-4-490-10008-2

難訓辞典

中山泰昌編 (1956)

B 6判 588頁 6,090円

東京堂出版〔日本語〕

国語辞典や漢和辞典に出てこない読みの困難な言葉を集め、一般語と姓氏・地名に分け、画引きに配列して、読み方と意味を示した。120周年記念復刊！ 978-4-490-10012-9

東大寺辞典 新装版

平岡定海著 (1995)

A 5判 568頁 4,200円

東京堂出版〔仏教史〕

東大寺の歴史と文化の全貌をとらえるべく、人名・地名・寺名・塔頭・書籍・美術・工芸など、幅広く1200余項目を解説。平城京遷都1300年記念復刊！ 978-4-490-10399-1

仏像事典

久野 健編 (1975)

A 5判 614頁 8,925円

東京堂出版〔仏教史〕

飛鳥から江戸時代までの基準的な作例940図版を仏像の種類別に図示し、仏師の事績と遺品、用語・事項・人名1740項目を解説。遷都1300年記念復刊！ 978-4-490-10091-4

神社 (日本史小百科)

岡田米夫著 (1993)

四六判 334頁 2,625円

東京堂出版〔日本史〕

日本人の精神生活や地域の歴史と深く結びついた神社について、建物・祭神・神職・祭祀・社会的機能などを概説し、著名な神社160余の由来も紹介。 978-4-490-20208-3

古文書解読事典 (改訂新版)

大石 学監修 (2000)

A 5判 448頁 2,940円

東京堂出版〔日本史〕

江戸時代の形式の異なる古文書30点を紹介し、入門者のために古文書の読み方を多彩なアプローチで示し、文書館を利用する際の実践的な知識を紹介。 978-4-490-10559-9

地方凡例録 (全2冊)

大石慎三郎校訂 (1995)

A 5判 総752頁 揃9,975円 東京堂出版〔日本近世史〕

本書は寛政六年に高崎藩の大石久敬がまとめたもので、農村制度や支配方式を知るための基本史料で近世史研究に不可欠である。地方用語の索引も付した。 978-4-490-20275-5

三つの会話 ソロヴィヨフ著作集〈5〉

V.S.ソロヴィヨフ著／御子柴道夫訳／鷲巢繁男解説 (1982)

四六判 281頁 3,465円

刀水書房〔西洋思想〕

晩年に世界終末の予兆をみた著者が、五人のロシア人の会話を通じて展開した著名な終末論。「反キリストに関する短編物語」が注目される。20年ぶりの復刊。 978-4-88708-036-2

曹操 三国志の真の主人公

堀 敏一著 (2001)

四六判 220頁 2,940円

刀水書房〔中国史〕

諸葛孔明や劉備の活躍する『三国志演義』はおもしろいが事実ではない。中国史の第一人者が慎重に選んだ“事実”は小説よりも奇！人間曹操と三国時代 978-4-88708-283-0

もう一つの遠野物語〔追補版〕

岩本由輝著 (1983)

四六判 275頁 2,310円

刀水書房〔民俗学〕

水野葉舟・佐々木喜善によって書かれたもう一つの「遠野物語」の発見。柳田をめぐる人間関係から柳田学の変容まで。柳田学批判の先端としての功績は大 978-4-88708-130-7

世界軍事史 人間はなぜ戦争をするのか

小澤郁郎著 (1986)

A 5判 466頁 7,350円

同成社〔世界史〕

先史時代から近代にいたる世界史のなかから、軍事史を通じて戦争の本質をさぐり、人類の歴史を構築しようとする壮大な試みの書。 978-4-88621-039-5

民族の起源 (オンデマンド版)

小林行雄著 (1972)

B 6判 246頁 2,310円

塙書房〔考古学〕

考古学界に注目すべき提言をしてきた著者が、日本文化の形成、民族と文学の起源等の問題を、過去30年余にわたる考古学の成果に即して論じる。 978-4-8273-4540-7

長屋王家木簡の研究 (オンデマンド版)

東野治之著 (1996)

A 5判 474頁 9,975円

塙書房〔日本古代史〕

1988年、約3万数千点におよぶ「長屋王家木簡」の出現は、従来の国史学、国語国文学の研究方法を再検討し研究の進展に寄与した。 978-4-8273-1610-0

日本陰陽道史総説 (オンデマンド版)

村山修一著 (1981)

A 5判 490頁 9,450円

塙書房〔文化史〕

今日なお根強く残滓を留める日本陰陽道の文化史的通観を総観に試みた労作で、学界の便に資するところ大なる業績。 978-4-8273-1620-9

古代木簡の基礎的研究 (オンデマンド版)

鬼頭清明著 (1993)

A 5判 520頁 10,500円

塙書房〔日本古代史〕

多年木簡の調査・解読にたずさわってきた著者が、木簡の内容・形態・書風・出土遺跡との関連等を視野に入れ木簡の史料としての価値を明らかにした。 978-4-8273-1641-4

日本中世の身分と社会 (オンデマンド版)

丹生谷哲一著 (1993)

A 5判 660頁 13,650円

塙書房〔日本中世史〕

中世社会を特徴づけている諸身分一御家人・刀弥百姓・賤民などを取り上げて、具体的、実証に考察し彼らがどのような位置を占めたかを究明する。 978-4-8273-1644-5

日本古代婚姻史の研究 (上・下) (オンデマンド版)

関口裕子著 (1993)

A 5判 486・448頁 各9,450円 塙書房〔日本古代史〕

日本古代の家族およびその一属性である婚姻が後世や現代の家族・婚姻とどう異なるのかを具体的に考察する。 978-4-8273-1642-1
978-4-8273-1643-8

白山信仰の源流

本郷真紹著 (2001)

四六判 229頁 2,415円

法蔵館〔仏教史〕

古代より神の山として崇められた白山は、同時に仏教の行場としてもその名を馳せた。白山信仰の開創者といわれる泰澄の伝記を手がかりに、奈良時代の社会と宗教を鮮やかに描き出す。 978-4-8318-8148-9

事典 古代の道と駅

木下 良著 (2009)

A 5判 436頁 8,400円 吉川弘文館〔日本古代史〕

古代道路のすべてがわかる！ 古代道路研究の第一人者が長年の成果を集大成。全ルートが今よみがえる。郷土史研究にも役立つ必備の事典！ 978-4-642-01450-2

古文書入門ハンドブック

飯倉晴武著 (1993)

四六判 318頁 2,625円

吉川弘文館〔古文書〕

古文書の解読法を、読み方、用語・文体の用例を通して分りやすく解説。古文書の基礎知識を満載した最良の入門書。 978-4-642-07409-4

- 客分と国民のあいだ** 近代民衆の政治意識 ニューストリー-近代日本
 牧原憲夫著 (1998)
 四六判 264頁 2,730円 吉川弘文館〔日本近代史〕
 明治初年、民衆の心には近代社会への反発と、政治から切り離された客分意識が横たわっていた。その人々が、やがて対外戦争に同調していったのはなぜか。 978-4-642-03700-6
- 日韓併合 日本歴史叢書47**
 森山茂徳著 (1994)
 四六判 250頁 2,835円 吉川弘文館〔日本近代史〕
 韓国併合100年。現代の韓国・朝鮮問題の出発点「日韓併合」を、日韓両国の歴史事実の検討と国際環境の中から浮び上らせる。 978-4-642-06604-4
- 〈聖徳太子〉の誕生 歴史文化ライブラリー-65**
 大山誠一著 (1999)
 四六判 214頁 1,785円 吉川弘文館〔日本古代史〕
 厩戸王は実在した。しかし聖徳太子という聖人は？ 太子のイメージはどのように誕生したのか、複雑な奈良朝の政治地図の中に位置づけた革命的聖徳太子論。 978-4-642-05465-2
- 藤原不比等 (人物叢書)**
 高島正人著 (1997)
 四六判 304頁 2,100円 吉川弘文館〔伝記・古代〕
 奈良時代前期の公卿。大宝・養老律令の編纂、平城京遷都などを実現し、律令国家の基礎を固める。藤原氏繁栄の礎を築いた稀代の大政治家を描く。 978-4-642-05205-4
- 長屋王 (人物叢書)**
 寺崎保広著 (1999)
 四六判 302頁 2,100円 吉川弘文館〔伝記・古代〕
 奈良時代前期の公卿。父は天武天皇の皇子、高市皇子。皇族として政治の中核で権勢を振るうが政変で自尽する。平城京の邸宅跡発掘と史料を駆使し生涯を描く。 978-4-642-05214-6
- 藤原頼長 (人物叢書)**
 橋本義彦著 (1964)
 四六判 256頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・古代〕
 平安時代後期の公卿。悪左府一保元乱の元凶？ 院政下の複雑な政情を分析し、数奇な運命を巧みに浮彫にした人間頼長の伝。 978-4-642-05109-5
- 道元 (新稿版) (人物叢書)**
 竹内道雄著 (1992)
 四六判 372頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕
 鎌倉時代前期の禅僧。曹洞宗の開祖。入宋し古風禅を伝え、帰朝後永平寺を創建。『正法眼蔵』で著名な高僧の厳しい修行の人生と思想を鮮やかに描く。 978-4-642-05195-8
- 伊達政宗 (人物叢書)**
 小林清治著 (1959)
 四六判 258頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・戦国〕
 初代仙台藩主。秀吉・家康の政権下、独眼よく奥羽を制覇し屈指の大藩を築く。使臣のローマ派遣等多彩な生涯を描く。 978-4-642-05013-5
- 藤田東湖 (人物叢書)**
 鈴木暎一著 (1997)
 四六判 288頁 2,100円 吉川弘文館〔伝記・近世〕
 江戸時代後期の水戸学を代表する学者。藩主徳川斉昭とともに藩政改革に尽力。幕末の対外危機のなか国家独立と統一を説き信望を集める。その波乱の生涯を活写。 978-4-642-05209-2

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書懇話会特設店

- | | | |
|-----------|-------|--|
| Junk 堂書店 | 仙台店 | 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-1
☎022-265-5656 |
| 岩瀬書店 | 富久山店 | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田
字大森新田36-1
☎024-936-2220 |
| 煥乎堂 | 本店 | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13
☎027-235-8111 |
| 須原屋 | 本店 | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20
☎048-822-5321 |
| 岩波ブックセンター | 信山社 | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3
☎03-3263-6601 |
| 東京堂書店 | 本店 | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17
☎03-3291-5181 |
| 芳林堂書店 | 高田馬場店 | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場
1-26-5 F I ビル
☎03-3208-0241 |
| Junk 堂書店 | 池袋本店 | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5
☎03-5956-6111 |
| 有隣堂 | 本店 | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1
☎045-261-1231 |
| Books なかだ | 本店 | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1
☎076-492-1192 |
| うつのみや | 柿木島本店 | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30
☎076-234-8111 |
| 平安堂 | 長野店 | 〒380-0825 長野市末広町1355-5
☎026-224-4550 |
| 精文館 | 書店 | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6
☎0532-54-2345 |
| ちくさ正文館 | 本店 | 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-28-1
☎052-741-1137 |
| Junk 堂書店 | 京都店 | 〒600-8005 京都市下京区四条富小路角
☎075-252-0101 |
| 旭屋書店 | 本店 | 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-12-6
☎06-6313-1191 |
| Junk 堂書店 | 大阪本店 | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20
堂島アバンザ1～3F
☎06-4799-1090 |
| Junk 堂書店 | 千日前店 | 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7
Y. E. S. N A M B A ビル |

		☎06-6635-5330
ジュンク堂書店	三宮店	〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18
		☎078-392-1001
フタバ図書	T E R A	〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ
		☎082-561-0770
りーぶる	天神	〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 福岡ショッピングプラザ6F
		☎092-713-1001
ジュンク堂書店	福岡店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル
		☎092-738-3322

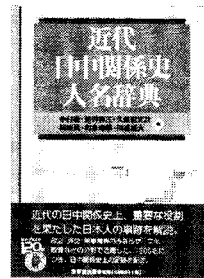
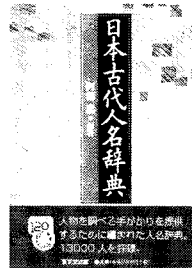
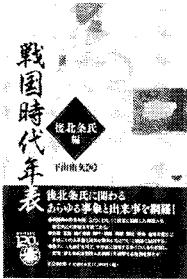
2010年8月現在

歴史書懇話会ホームページ http://www.hozokan.co.jp/rekikon/	
歴史書懇話会会員社ホームページ	
青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
柏書房	http://www.kashiwashobo.co.jp/
汲古書院	http://www.kyuko.asia/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
新人物往来社	http://www.jinbutsu.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

限りなく広がる知識の世界

辞典800点突破!

おかげさまで創業120年



戦国時代年表 後北条氏編
 後北条氏に開かる
 つかぬ事象と出来事を網羅
 戦国時代年表 後北条氏編
 戦国時代年表 後北条氏編
 戦国時代年表 後北条氏編

大阪の地名由来辞典 堀田暁生編
 大阪府三十三市九町一村の主要な地名約一一〇〇について、地名の由来から来歴・変遷などを歴史史料より詳細に解説。由来については典拠史料名を示す。地名から大阪の歴史、文化がよくわかる四六判 三五二頁 二九四〇円

日本古代人名辞典 阿部 猛編著
 平安時代を中心に頼朝政権成立期頃まで、過去に類のない最多数の人名約一三六〇〇人を収録し官職、主な経歴や業績、行状等を簡潔に解説。種々の文献と史料より人名を採録。出典を明記した菊判 八二〇頁 一五七五〇円

近代日中関係史人名辞典 中村 義他編
 明治時代から終戦までの期間に、政治・外交・経済・軍事・文化・教育などの分野で特に中国との関係において業績のあった人物約一二〇〇名を取り上げ、その経歴と業績などを客観的に解説。A5判 六五〇頁 一五七五〇円

〈価格税込〉



東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17

電話03-3233-3741

FAX03-3233-3746

http://www.tokyodoshuppan.com

階級という言語

イングランド労働者階級の政治社会史

G.ステッドマン・ジョーンズ著／長谷川貴彦訳 一八三二—一九〇〇年

エイギリスの「リーフ」史学の記念碑的著作。特にチャーターイズムをめぐる分析では「言語は実体を反映するものではなく、実体」に先行して意味内容を規定する」という言語認識を歴史分析に応用、歴史学における言語論的転回を示す象徴的作品となる。社会科学一般、現代政治にも影響多大

百年戦争

中世末期の英仏関係 (元水歴史全書80)

城戸毅著 四六上製 三二〇頁 ¥三二一〇
今まで我が国にまともな研究がなく、欧米における理解からずれていたテーマ。英仏関係およびフランスの領邦君主諸侯間の関係をとおして、戦争の前史から結末までを描いた、本邦初の本格的百年戦争の全体像

チベット諸族の歴史と東アジア世界

川勝守著 A5箱 五五〇頁 ¥一五七五〇

中国を中心とした東アジア世界との関係を基軸に、チベット諸族の歴史的發展を跡付ける

飢饉・市場経済・村落社会

上塩尻村 上天保の内作からみた

「近世上田領上塩尻村の総合研究」別巻一
長谷部弘・高橋基泰・山内天編 A5上製 一四〇頁 ¥二九四〇
豊富な村落資料を用い、従来取り上げられなかった損耗軽微な飢饉地帯に於ける飢饉克服の実態を明らかにする

一〇月 歴史リバイバルで二〇年ぶりの復刊

ソロヴィヨフ著作集5 二つの会話 四六上製 二八頁 ¥三四六五
V.Sソロヴィヨフ著／御子柴道夫訳／鷲巢繁男解説 (一九八二年刊)
◆晩年に世界終末の予兆をみながら、五人のロシア人の会話を通じて展開した著名な終末論中、でも「反キリスト」に関する短編物語」が注目される

ソロヴィヨフ著作集別巻 ソロヴィヨフとその時代 1・2
御子柴道夫著 四六上製 二八〇頁 ¥二九四〇(1・2共通)

新しい時代の新しい歴史1001冊 [内容頁未定]

世界史の鏡 樺山紘一編

四六並製 一六〇頁 各¥一六八〇

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年
樺山紘一著 〇巻 ◆歴史家の苦悩と喜びを振り返る

ハイチの栄光と苦難 世界初の黒人共和国の行方
浜忠雄著 地域6 ◆独立後200年の危機、ハイチから見た世界史

イタリア都市の諸相 都市は歴史を語る
野口昌夫著 都市4 ◆歴史が層になつて見える都市

本を読むデモクラシー 読者大衆の出現
宮下志朗著 情報3 ◆日仏庶民の読書初めはいつか?

ナイル 地域をつむぐ川
加藤博著 地域7 ◆文明の十字路／人種と民族のつぼ

イブラヒム、日本への旅 ロシア、オスマン帝国・日本
小松久男著 地域10 ◆アジア主義者との深い絆

中国明末のメデア革命 庶民が本を読む
大木康著 情報4 ◆500年前の輸入り小説大流行

ジハードの町タルスース イスラーム世界と
太田敏子著 都市3 ◆聖戦のための前線基地

森と川 歴史を潤す自然の恵み
池上俊一著 環境9 ◆ヨーロッパ中世の人と自然。新しい環境史

農業と遊牧の交わる都 北京 近刊
妹尾達彦著 環境2 ◆ユーラシア大陸全体を俯瞰して北京を語る

戦争未亡人の世界

日清戦争から太平洋戦争へ

千代田明子著 A5上製 二〇〇頁 予価 ¥二九四〇
映画・小説等の「戦争未亡人」像を時代相の変遷の中で分析。新視点に注目

上海時間旅行

佐野真一他

―蘇る“オールド上海”の記憶

菊5判 192頁＋口絵16頁 1890円

上海万博の2010年から過去にタイムスリップ!

李香蘭・高杉晋作、ゾルゲ、里見甫：魔都と呼ば

れた街に生きた人間たちのドラマ。オールド上海の
魅力が、写真とともに蘇る。

山川MOOK 03

切絵図の扉を開けると懐かしい江戸東京が見えてくる

江戸東京切絵図散歩

B5判 208頁 オールカラー 1680円

江戸名所絵図・江戸名所百景・航空写真・風景写

真など、掲載した2000点全ての写真の場所を、
地図や切絵図に特定。また、日本橋界限を鮮やかに
描いた絵巻『熙代照覧』を一挙公開。

山川MOOK 各1680円 好評発売中!

01 日本の城

02 「坂の上の雲」と日露戦争

新版 世界史のための人名辞典

世界史に登場する約1900名を網羅し、エピソードを交え詳細に紹介するハンディな読む辞典。

水村光男 編著 四六判 500頁 1575円

日本史リフレット人

A5変型判 各840円

34 北条時宗と安達泰盛

新しい幕府への胎動と抵抗 福島金治 著

62 ケンペルとシーボルト

「鎖国」日本を語った異国人たち 松井洋子 著

大学生のための世界史講義

歴史から今を読む

上杉忍・山根徹也 編 グローバリゼーションと呼ば
れる現象はどのように進化したのか。資本主義的世界
体制の成立と国民国家形成の視点から読み解き、「歴
史のなかの今」を考える。 1890円

宗教の世界史 12 イスラームの歴史 II

「イスラームの拡大と変容」 小杉泰 編
十八世紀以降イスラームの歴史を世界への拡大とそれ
にともなう変容の視点から明らかにする。 3675円

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

〈都〉の視点から日本古代史を捉え直す新シリーズ！ (内容案内送呈)

古代の都

全3巻 刊行開始 各2940円

歴史文化ライブラリー

平城京の時代

田辺征夫・佐藤 信編 第1回7月の新刊
平城遷都1300年 首都・佐都・国府新刊
市におおよし奈良の都のすへて
●7月の新刊
●飛鳥から藤原京へ 木下正敏 佐藤 信編
●8月の新刊
●久々の都 平安京 西山長平 鈴木久男編

都市鎌倉の中世史

吾妻鏡の舞台と
主役たち
●7月の新刊
●秋山雄雄著

「国民歌」を唱和した時代

昭和の 戸ノ下達也著
大塚敦記
●7月の新刊
●1785円

日本国号の歴史

小林敏男著 「日本」という国号は、いつ、誰か、どのように定めたのか、その意味や由来を解明する
●7月の新刊
●1785円

流行歌の誕生

「カチユシヤの唄」とその時代
メロディーがわかるいやわかれのつらきなつかし
メロディーがよみかえる
●7月の新刊
●1785円

〈江戸〉の人と身分

身分制のなかで女性た
身分制のなかで女性た
身分制のなかで女性た
●7月の新刊
●3150円

知っておきたい

時代を超えて心に響く、名僧三四名の珠玉のことは。

名僧のことば事典

中尾 堯、今井雅晴編
3045円
言葉の理解のために、名僧の生涯を辿り、現代語訳と平易な解説を付す。混迷の時代を生きた現代人に、多くの指針を与えてくれる座右の書。●8月の新刊(内容案内送呈)

いま、史跡が歴史を語り始めた。

史跡で読む日本の歴史 全10巻 完結 各2940円

佐藤 信

「北の民族が、南の王国」まで、史跡から浮かび上がるアジアのつながり

日本の対外関係 全7巻

荒井泰典
石井正敏編
村井雅介
●2回
●7月の新刊
●3300円

倭寇と「日本国王」

●7月の新刊
●1315世紀 九〇〇年統一した倭寇の外交を放棄した中世日本 日本国王 冊封の内実を迫る

日本人の宗教と動物観

殺生と
肉食
●8月の新刊
●2730円

古代蝦夷を考える

高橋富雄著 蝦夷とはなにが古
代東北史の第一人者か根本から問
います
●7月の新刊
●2415円

中世の神仏と古道

戸田芳美著 歩いてきた歴史
―古道とくるとる人々の文化史
●8月の新刊
●2205円

佐賀藩

日本歴史叢書66
藤野 保壽 なぜ新期に西南雄藩として台頭
したのか 集閣武道 藩政改革 独自の歴
史を拓く 吉川文館発行(天野出展発行)

古文書の語る 地方史

佐藤孝之編
2940円●7月の新刊

松平信綱

大野龍聖著 《知恵伊豆の顔目躍如！
人物事典》 家康(近衛)として幕府確立に
2225円 尽力した川越藩主の失墜
●8月の新刊



吉川弘文館

2010年版 出版図書目録1送呈 (価格は税込)
〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 電話 03-3813-9151
FAX 03-3812-3544 http://www.yoshikawa-k.co.jp/

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 清>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・矢澤伊作>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 <休会>
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4 <担当者・宮崎 淳>
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中閨町2-7 <担当者・井熊勇介>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 新人物往来社 102-0083 千代田区麹町3-2相互麹町第一ビル<担当者・豊田達也>
TEL. 03-3221-6031 FAX. 03-3221-6641
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・角田光隆>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・馬場辰也>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・吉田幸一>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 101-0054 千代田区神田錦町3-6 石澤ビル3F <担当者・須藤 圭>
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・西田 智>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2010年9月1日発行・第191号

発行 **歴史書懇話会**

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店